

地元の自然素材とともに



ハグルマ株式会社 代表取締役社長 中野栄介



日頃より、ハグレンの製品をご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。

当社は明治27年創業の三ツ矢ソース株式会社と、明治37年創業の羽車ソース株式会社が生産合理化のために昭和44年に設立した会社で、その後三ツ矢ソースの製造販売一切を継承し、のちに羽車ソース株式会社と合併し現在に至ります。当初はソースの製造が主体でしたが、現在ではトマト加工品を中心にはん酢、ドレッシング、焼肉のたれ、ごまだれ等、液体調味料を幅広く製造し販売しております。

心で美味しい食品を消費
者に供給し、人々の食生
活の向上と健康で明るい
社会づくりに貢献する。」
と掲げています。

この経営理念に込めら
れた思いを「キーワード
別に紹介させて頂きま
す。

一つ目のキーワード
「自然素材との調和」に
ついて、地元和歌山県の
素材を使用した製品を多
く展開しております。代
表的なものを挙げれば、
紀州南高梅を使用したド
レッシングやソース、柚
子を使用したドレッシン
グ、じゅばうを使用した
ぽん酢など、地元に根差
した企業となるよう取り

家との取り組みで、加工用トマトを栽培し国産トマトを使用したトマトケチャップも製造しています。どれも素材の味をいかした調味料となっております。

を製造したいという思いがあり、最近では「食塩不使用」や「糖類不使用」のケチャップを開発しました。食塩など摂取量に制限があるお客様などで、使用をがまんされたり、使用量を控えたりしていた部分を、気にせずに使用することができます。加えて食塩を使用しない場合、味が物足りないと感じがちですが、香辛料の配合を工夫することで、「健康」と「美味しさ」を両立させた商品となり、発売以来大変好評を頂いております。

創出が必要であると考えます。社内でのコミュニケーションを大切にし、社員の声を面談等を通して吸い上げ、いろいろな意見を共有できる仕組みを構築し、「成長したい」という考え方を尊重し、外部内部の研修への参加など、積極的に成長支援を行います。そうすることで、より良い商品がうまれやすい環境が整い、最終的にはお客様の満足へと繋がると考えます。

日頃より、ハグレンマの製品をご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。

当社は明治27年創業の三ツ矢ソース株式会社と、明治37年創業の羽車ソース株式会社が生産合理化のために昭和44年に設立した会社で、その後三ツ矢ソースの製造販売一切を継承し、のちに羽車ソース株式会社と合併し現在に至ります。当初はソースの製造が主体でしたが、現在ではトマト加工品を中心にポン酢、ドレッシング、焼肉のたれ、ごまだれ等、液体調味料を幅広く製造し販売しております。

当社の経営理念としましては、「自然素材との調和をはかり、安全・安

心で美味しい食品を消費者に供給し、人々の食生活の向上と健康で明るい社会づくりに貢献する」と掲げています。

この経営理念に込めた思いを「キーワード別に紹介させて頂きま

す。

一つ目のキーワード
「自然素材との調和」について、地元和歌山県の素材を使用した製品を多く展開しております。代表的なものを挙げれば、紀州南高梅を使用したドレッシングやソース、柚子を使用したドレッシング、じゃばらを使用したぽん酢など、地元に根差した企業となるよう取り組んでいます。また、夏場においては、近隣の契約農家及び国内の契約農

家との取り組みで、加工用トマトを栽培し国産トマトを使用したトマトケチャップも製造しています。どれも素材の味をいかした調味料となつております。

二つ目のキーワード「安全・安心」につきましては、その証として2018年に食品安全の国際規格であるFSSC22000を認証取得しました。食品安全方針としては、経営理念と同様となつており、社員一人一人がその方針を達成するよう、目標・目的を持つて仕事に取り組んでいます。

三つ目のキーワード「健康」につきましては、お客様の食生活の向上などの手助けができる商品

があり、最近では「食塩不使用」や「糖類不使用」のケチャップを開発しました。食塩など摂取量に制限があるお客様などで、使用をがまんされたり、使用量を控えたりしていた部分を、気にせず使用することができます。加えて食塩を使用しない場合は、味が物足りないと感じがちですが、香辛料の配合を工夫することで、「健康」と「美味しさ」を両立させた商品となり、発売以来大変好評を頂いております。

創出が必要であると考えます。社内でのコミュニケーションを大切にして、社員の声を面談等を通して吸い上げ、いろいろな意見を見共有できる仕組みを構築し、「成長したい」という考え方を尊重し、外部内部の研修への参加など、積極的に成長支援を行います。そうすることで、より良い商品がうまれやすい環境が整い、最終的にはお客様の満足へと繋がると考えます。